



急性消化管出血に対する経カテーテル的動脈塞栓術の治療成績に関する研究

2006年1月1日から2022年2月28日までに急性消化管出血に対し経カテーテル的動脈塞栓術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「急性消化管出血に対する経カテーテル的動脈塞栓術の治療成績に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2006年1月1日より2022年2月28日までに日本医科大学付属病院にて、急性消化管出血のために経カテーテル的動脈塞栓術を受けられた患者さんの治療成績を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：急性消化管出血に対する経カテーテル的動脈塞栓術の治療成績に関する研究
研究期間：研究実施許可日～2025年3月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 放射線科 講師 上田 達夫

(2) 研究の意義、目的について

急性消化管出血の致死率は上部消化管で10～14%、下部消化管で2～4%と高く、救急疾患の一つとされています。急性消化管出血の治療としては内視鏡的止血術が第一選択ですが、止血困難である場合や、バイタルが不安定である場合は経カテーテル的動脈塞栓術（TAE: Transcatheter arterial embolization）が第一選択となる場合があります。TAEは良好な止血効果が得られる一方で腸管虚血や再出血の報告も一定数存在するため、当院での治療成績をまとめ、急性消化管出血に対するTAEの有用性を示すことを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2006年1月1日より2022年2月28日までに日本医科大学付属病院放射線科にて、急性消化管出血のために経カテーテル的動脈塞栓術を受けられた患者さんについて以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：なし

基本情報：年齢、性別、採血データ、バイタルサイン（脈拍、血圧）、輸血量、転機など

血管造影画像、CT画像：出血部位、出血の責任血管、塞栓血管の本数

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 放射線科 大学院生(嘱託医) 白井 清香

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24187

メールアドレス：s-shirai@nms.ac.jp